

～ボルネオの森のなかまたち☆2011～
フタバガキのタネをとばそう
実施報告書

2011年12月21日
キッズプラザ大阪
石川 梨絵

- 【主催】 大阪市教育振興公社 キッズプラザ大阪
【共催】 ボルネオ保全トラストジャパン (BCTJ)
(Panasonic NPO サポート ファンドの助成による環境教育の一環)
- 【実施日時】 平成23年11月6日(日)、20日(日) (二日間)
①11:30～12:10、②14:00～14:40 (同内容)
- 【実施場所】 キッズプラザ大阪 5階多文化ひろば、3階階段下
- 【ねらい】 植物のタネの役割やその生存のための工夫や特徴を知ること、生命の多様性とその不思議さ、自然の大切さを体感してもらう。モチーフとして、日本人が木材としてよく利用してきたフタバガキという木のくるくる回転しながら落下するという特性を持つタネをとりあげる。
- 【対象】 小学生～中学生、各回16名
- 【受付方法】 各回30分前より参加券を配布
- 【参加費】 無料(ただし、キッズプラザ大阪への入館料が必要)
- 【スタッフ】 11月6日(日) BCTJ 荒川共生(ファシリテーター)、他5名
キッズプラザ大阪職員3名 計8名
11月20日(日) BCTJ 浅井義人(ファシリテーター)、他2名
キッズプラザ大阪職員3名 計5名
- 【参加者数】 11月6日(日) ①9名(連絡なく7名キャンセル)、②16名
11月20日(日) ①15名(直前に1名キャンセル)、②16名
(いずれも低学年、中学年がメイン)
- 【材料費】 2730円(厚紙、色画用紙、セロファン、ストロー等) *BCTJ負担
- 【具体的な内容】
- 1) 導入 いろいろな植物のタネの役割と工夫を、写真を使ったクイズとタネの実物数種類を観察しながら考える(PPT使用)。材木として使われるフタバガキの木のタネをとりあげ、その不思議な特性を知る。
 - 2) 工作 ①既存のタネのペーパークラフトで、回転しながら落ちる形を体験。
②フタバガキのタネやペーパークラフトを参考に、回転しながら落ちるタネを自分で工夫してつくる。材料はいろいろな材質の紙、ストロー、道具ははさみとセロテープを使う。
 - 3) 移動 作品鑑賞のために、子どもとスタッフは5階から3階へ移動。

- 4) 作品鑑賞 5階から3階までの吹き抜け空間を利用し、約15mの高さから落ちてくるフタバガキのタネと作品を鑑賞する（スタッフが落とす）。
- 5) まとめ フタバガキのタネの特徴、子どもの気づきをふりかえる。
作品とBCTJのリーフレットを渡す。

【成果及び結果】（参加スタッフの声）

- ・40分という短い時間のなかで、テンポよく進行できた。
- ・1テーブルに4人ずつ子どもが着席、導入、工作では4人に1人スタッフがついてサポートすることができた。
- ・低学年の子どもにもなじみのある素材と道具を使ったため、それぞれ自分なりの工夫をして作品をつくることができた。
- ・あらかじめいろいろな見本を作っておいたことで、アイデアの元を示すことができた。
- ・作品鑑賞では、落下してくるたくさんのタネや作品に参加者から歓声があがり、とても喜んでいる様子が見られた。
- ・6日の反省点として、フタバガキをとりあげた理由を言及しなかったこと、子どもとのふりかえりができなかつたことがあがり、20日はこれを改善して実施できた。（フタバガキは知られてはいないが、材木としてよく使っている木だということを付け加え、自分との関連を意識づけた。また、作品鑑賞の際にもマイクを使用し、子どもの気づきを促し、簡単なまとめをおこなった）。

【今後の課題】（参加スタッフの声）

- ・導入、工作、移動、作品落下と鑑賞の際の子どものサポート、および鑑賞会場の設営、ビデオ、写真の撮影などの運営面で、スタッフが7、8名は必要。
- ・作品を持って帰り、その後も作品で遊んだり、フタバガキに興味を持ってくれる
- ・学びが継続的に発展できるようなしかけ、ワークシート作成など
- ・参加できなかった子ども（対象年齢以下、定員オーバー）に、パンフレットやペーパークラフトなどを渡すことで対応してはどうか。
- ・もう少し、ボルネオに関連づけることが必要では。
- ・子ども向けのリーフレットやワークシートなどで対応できないか。
- ・アンケートを書いてもらうことで内容理解を促す。

【担当者考察】

当館での実施においては、課題解決を目的とした環境教育ではなく、まずは子どもたちに興味を持ってもらうプロセスを重視し、自然や命の大切さへの気づきを促すことを心がけた。このワークショップでは、フタバガキのタネを観察し、自分で試行錯誤しながら手づくりのタネを工作してみることで、生きものの生存のための工夫をより深く体感することができた。また作品鑑賞においては15mの高さから、本物のタネや作品が回転しながら落下してくる様子は、幻想的であり、感動のあるワークショップとなったと考える。

以上



クイズ形式でタネの役割を考える。



フタバガキのタネを観察して工作。



工作の様子。いろいろな素材を使い工夫をこらしている。



何種類かの「タネ」が完成



タネが落ちてくる様子



クイズ形式でタネの役割を考える。



フタバガキのタネを観察して工作。



工作の様子



つくった「タネ」を飛ばしてみる



タネが落ちてくる様子